

コンタクトレンズ  
学校でのカラーCLの対応



神奈川県医師会

## 発行にあたり

コンタクトレンズ(CL)には硬い素材でできているハードコンタクトレンズ(HCL)と柔らかい素材でできているソフトコンタクトレンズ(SCL)があります。SCLは角膜(黒目)より大きく又その素材ゆえ、HCLより重篤な障害を発症しやすいと言われていています。しかしHCLもSCLも眼鏡と同じようにはっきりと物を見ることを目的として装用することは同じです。

最近、色がついていて度が入っていない、瞳の色を変えたり目を大きくみせるというおしゃれの為だけのカラーSCL(いわゆるカラコン)の装用者が増え、また低年齢化がみられます。さらにカラコンは眼科医の診察や指導を受けることなく量販店や通販で購入され、しかも品質に問題のある物が多くあり、角膜に障害を発症するケースが多いようです。おしゃれのための使用で、若い人が最悪の場合には視力を失うということは非常に残念なことです。

そこでカラコンにしばり、その危険性を理解していただくために本冊子を作成しました。すばらしいカラー図版もありますので、とくに学校現場の先生が生徒や学生に注意、啓発し、場合によっては装用しないように指導していただくために有用であると思います。

ぜひご活用ください。

学校保健調査研究委員会  
委員長 川辺幹男

## はじめに

若い女性を中心に人気を集めているカラーソフトコンタクトレンズ(以下カラーSCL)は、瞳の色を変えるおしゃれ目的で学校現場でも使用が増加しています。本来、色のついたコンタクトレンズ(以下CL)は虹彩(こうさい)付きソフトCL(以下SCL)といい、医療目的として角膜が白濁した方や無虹彩症などの方に使用するものです。しかし、カラーSCLは美容目的に使用されています。直径約12mmの透明な角膜(かくまく)図1の色を変えるタイプ図2、角膜を大きく見せるタイプ図3があります。現在、カラーSCLはすべて高度管理医療機器となり、薬事法で認可されたものが販売されていますが、トラブルが非常に多く注意が必要です。インターネットなどの個人輸入は薬事法の規制にはならないために、さらにレンズの規格など多くの問題点があります。



図1 正常角膜



図2 おしゃれ用カラーSCL  
瞳の色を変えるタイプ



図3 おしゃれ用カラーSCL  
瞳を大きく見せるタイプ

## カラーコンタクトレンズの問題点

カラーSCLは透明なソフトCLに比し眼障害が非常に多いものです。色素により酸素透過性が低下し、一部のレンズでは内面に色素がプリントされ角結膜障害、視野異常、夜間視力の低下などが生じます<sup>図4~7</sup>。また、使用者は眼科医師の診察、正しい取り扱い、レンズケアの指導を受けずに、CL量販店、インターネット・通信販売での購入が多いのです。さらに、使用者のコンプライアンスは低く、危険性を理解していない場合が多いのです。CLは通常の透明なレンズでも10人に1人の割合で眼障害が生じていますが、カラーSCLはその割合がさらに増加します<sup>表1</sup>。公益社団法人日本眼科医会(以下日眼医)の平成20年の度なしのカラーSCL眼障害調査では全国で167名が眼障害を生じ、21名が失明の恐れがある重症例でした。

カラーSCLは透明なCLと同様な眼障害が生じ、その症状は顕著化します。CL眼障害には角膜炎、角膜潰瘍(かいよう)といった重症なものがあり、治癒しても角膜が混濁して失明する 경우가少なくありませんし、アレルギー性結膜炎、巨大乳頭結膜炎が多く合併します。

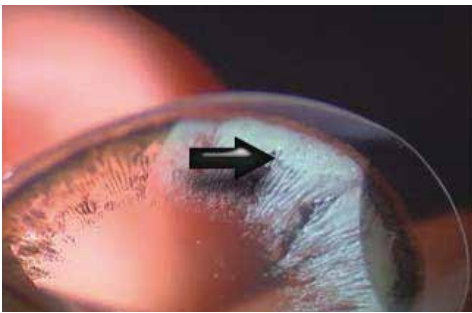


図4 おしゃれ用カラーSCL  
内面に色素(矢印)がプリントされている

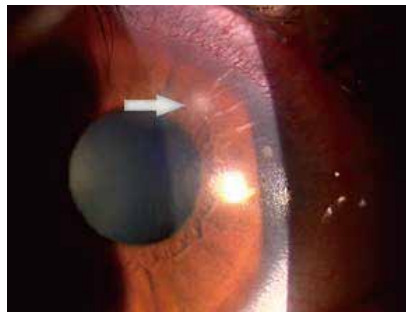


図5 おしゃれ用カラーSCL  
医師の診察なし、ネット販売で購入し、  
生じた角膜潰瘍(かくまくかいよう、矢印)

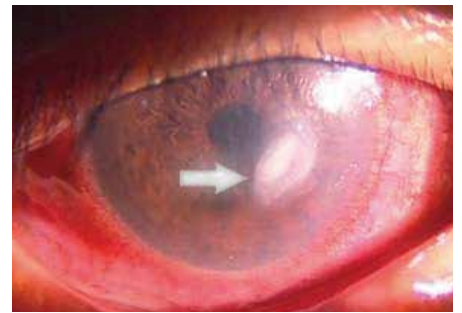


図6 おしゃれ用カラーSCL  
医師の診察なし、ネット販売で購入して  
生じた角膜潰瘍

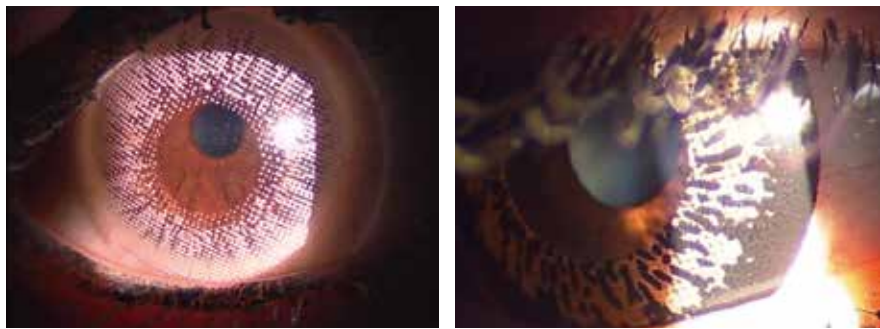


図7 おしゃれ用カラーSCL  
レンズがずれて視野異常を生じている、夜間は瞳孔が広がり夜間視力も低下する

### <表1> カラーSCLの問題点

- 透明なCLでもCL眼障害が10人に1人に生じているが、カラーSCLではさらに障害が増加する
- カラーSCLは色素の入っている部分の酸素透過性が低下し、色素により角結膜障害を生じる
- 色素の部分により視野異常、夜間視力低下を生じる
- 眼科医師の診察、指導を受けずにCL量販店、インターネット・通信販売にて購入が多い
- カラーSCL使用者が危険性を理解していない場合が多い

## カラーコンタクトレンズの使用実態

日眼医の全国の学校でのCL使用調査では、カラーSCL使用者は高校生では平成21年が0.6%、平成24年が3.2%と急増しています1)。

平成24年日本コンタクトレンズ学会のカラーCL眼障害調査報告(395例)図8~10では、年齢層は10~14歳が2.0%、15~19歳が40.5%、20~24歳が30.1%、25~29歳が15.9%であり、中高生からカラーSCLを使用する人が多いと考えられました。購入先は全年齢ではネット・通信販売が52.7%、ディスカウントショップ、雑貨店・化粧品店が28.4%、量販店が9.6%、眼科隣接CL販売店が5.1%であり、15歳以下は通販が60%、ディスカウントショップ、雑貨店・化粧品店が35%で、眼科隣接CL販売店での購入はありませんでした。購入時に眼科受診をしなかった人は全年齢が80.3%、15歳以下が95.0%で、中学生の殆どは初めてのCLがカラーSCLであることがわかります2)。

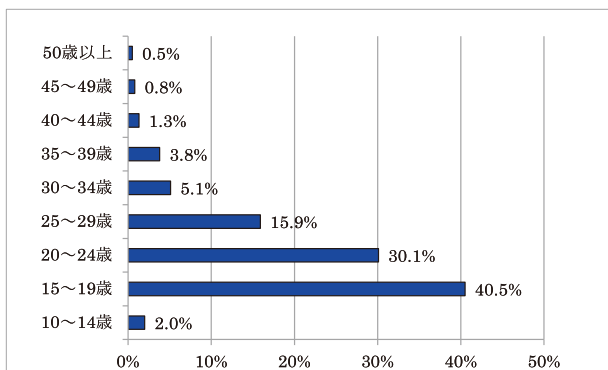


図8 平成24年日本コンタクトレンズ学会のカラーCL眼障害調査報告  
年齢別障害状況(395例)

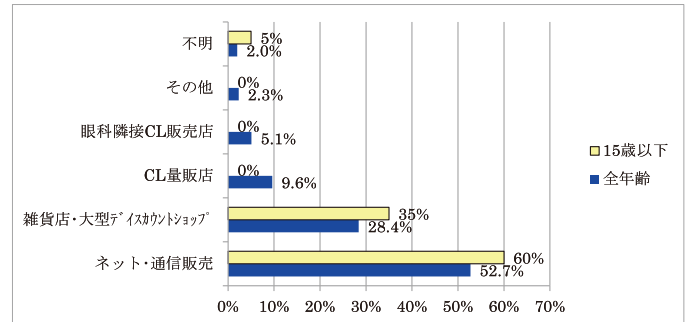


図9 平成24年日本コンタクトレンズ学会のカラーCL眼障害調査報告  
カラーSCL購入先状況(395例)

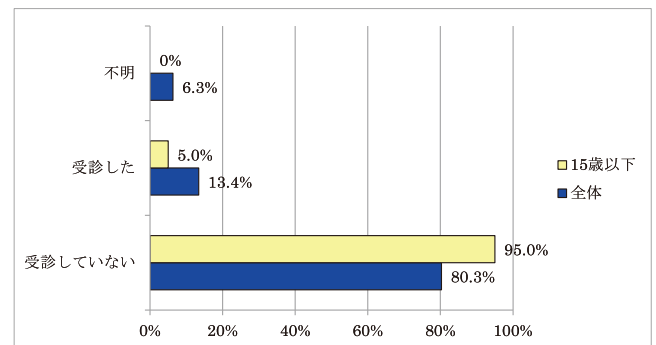


図10 平成24年日本コンタクトレンズ学会のカラーCL眼障害調査報告  
カラーSCL購入時の眼科受診の有無

## カラーコンタクトレンズ販売と眼障害

カラーSCLを含めCLは医師の処方せんなしで雑貨店やインターネット・通信販売で購入できるために、医師の診察、正しい取扱い、レンズケアの指導を受けずに、不適切に使用している人が増加しています。

平成22年に日本CL協会はネットを利用したCL使用者29,194名のコンプライアンス調査を実施し、度なしカラーSCL使用者は6.4%しか医師の定期検査を受けていませんでした3)図11。平成23年日眼医のCL眼障害調査では、インターネット・通信販売でCLを購入し眼障害を生じた方の中でカラーSCL使用者が64.8%でした4)。平成24年日眼医のCL眼障害調査のカラーSCL使用者は10~20代の女性が圧倒的に多く、75%以上が眼科医を受診しなかったことなど、コンプライアンスに問題があることに加えて、カラーSCL自体が眼障害の原因と考える眼科医が多かったことも明らかになりました5)図12。

平成24年、韓国ではカラーSCLによるトラブルが多発し、インターネットでのカラーSCL販売が禁止されました。

平成24年7月に厚生労働省は「CL販売時の取り扱いについて」、CL販売業者に徹底するように各都道府県に通知しました6)。CL販売では、CLを購入する者に、医療機関の受診状況を確認し、それを記載、保存し、医療機関を受診して

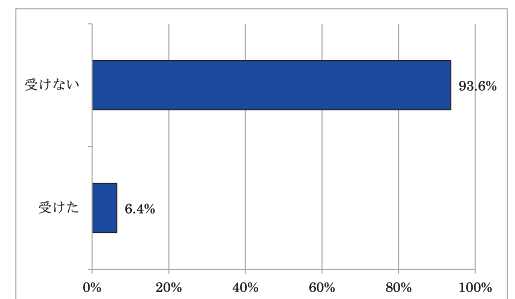


図11 平成22年日本CL協会のネットを利用したCL使用者調査  
29,194名の内、度なしカラーSCL使用者の定期検査の状況



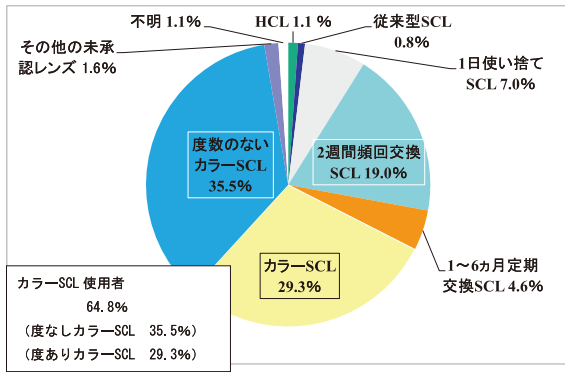


図12 平成23年度日本眼科医会CL眼障害調査報告  
通信販売・インターネット販売に限定  
(公益社団法人日本眼科医会)

ました6)。CL販売では、CLを購入する者に、医療機関の受診状況を確認し、それを記載、保存し、医療機関を受診していない場合は、CLの健康被害等の情報提供を行い、医療機関を受診するよう勧奨しました。さらに、日本CL協会が制定した「CLの販売自主基準」を徹底するように通達を出しました。その基準にはCL販売店は、CLの販売には、眼科医療機関のCL指示書に基づいて販売するよう努めること。CL使用者には、眼科医の指示を受け、それを守ることが記載されています。さらに9月に同省は医薬品・医療機器等安全性情報に「CLの適正使用と眼障害防止について」を発表し、カラーSCLによるトラブルの多発を報告しています7)。

## 4 大人の方の適切なカラーコンタクトレンズ使用方法

大人の方でどうしてもカラーSCLを使用する場合には、通常は透明なCLを使用し、必要な場合に酸素透過性の高い、1日使い捨てのカラーSCLの短時間使用をすすめます。カラーSCLを希望される方は必ず眼科医師の処方を受けて、正しい使用方法・レンズケアを守り定期検査を受け、添付文書をしっかりと読んでください。痛みや症状などトラブルがある場合はすぐに外して、眼科医を受診してください表2。

### <表2> カラーSCLの適切な使用方法

- コンプライアンスが低い方は使用しない
- 通常は透明なCLを使用し、どうしても使用するならば、**酸素透過性の高い素材の毎日使い捨てSCLの短時間装用をすすめる**
- カラーSCL希望者は必ず眼科医師の処方を受けて、正しい使用方法・レンズケアを守り、添付文書をしっかりと読む
- カラーSCLは美容目的であり、学校現場には美容は不要です。子どもたちへの使用はすすめない

## 5 学校現場でのカラーコンタクトレンズ使用は不必要

大人でもカラーSCLによる眼障害者が増加しているのに、自己責任のとれない子どもたちにカラーSCLはすすめられません。カラーSCLの使用目的は美容であり、学校現場では美容は不要です。さらに風紀上の問題もあります。学校現場では、眼科学校医、学校関係者によるカラーSCLの健康教育、啓発活動を積極的に実施していただきたい。

### <文 献>

- 1) 宇津見義一:平成24年度学校現場でのコンタクトレンズ使用状況調査、日本の眼科,85,346-366,2014.
- 2) 日本コンタクトレンズ学会:カラーコンタクトレンズが抱える諸問題、日本コンタクトレンズ学会緊急レクチャー、平成25年3月7日、東京.
- 3) 植田喜一、上川真己、田倉智之、宇津見義一、金井淳:インターネットを利用したコンタクトレンズ装用者のコンプライアンスに関するアンケート調査. 日本の眼科,81:394-407,2010.
- 4) 高橋和博、宇津見義一、藤堂勝巳、魚谷純、福下公子、高野繁:コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成23年度)、日本の眼科、83、513-520、2012.
- 5) コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成24年度):高橋和博、魚谷純、山下秀明、福下公子、高野繁:コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成24年度)、日本の眼科、94、801-810、2013.
- 6) 厚生労働省医薬食品局:コンタクトレンズの販売時における取り扱いについて、厚生労働省医薬食品局通知、薬食発0718第16号、平成24年7月18日.
- 7) 厚生労働省医薬食品局:コンタクトレンズの適正使用と眼障害防止について、厚生労働省医薬品・医療機器等安全性情報、3-7、2012(平成24年9月).

## 学校でのカラーC Lの対応

(平成26年3月 発行)

神奈川県医師会  
横浜市中区富士見町3-1  
電話 045-241-7000  
FAX 045-241-1464

---

### 神奈川県医師会学会医部会 学校保健調査研究委員会名簿

---

部会長	大久保 吉 修	委員長	川 辺 幹 男 (眼科・横須賀市)
副部会長	近 藤 正 樹 澤 井 博 司	副委員長	北 田 守 (内科・横浜市)
	菊 岡 正 和 角 野 禎 子	副委員長	梅 沢 幸 子 (小児科・平塚市)
下 山 丈 紀 (小児科・川崎市)	加 藤 葉 子 (小児科・藤沢市)		
三 宅 正 敬 (眼科・厚木)	大 山 宜 秀 (小児科・相模原市)		
増 田 惠 一 (産婦人科・海老名市)	宇津見 義 一 (眼科・横浜市)		
新 谷 敏 晴 (耳鼻科・川崎市)	内 山 勝 文 (整形外科・相模原市)		
小 幡 秀 一 (皮膚科・厚木)	金 成 正 浩 (内科・横須賀市)		
竹 山 孝 二 (精神科・横浜市)			

執筆者・写真提供者：

神奈川県医師会学校医部会 学校保健調査研究委員  
神奈川県眼科医会理事、日本コンタクトレンズ学会理事、  
日本学校保健会評議員

宇津見 義一